

～10月はピンクリボン月間～

乳がんは早期発見・早期治療が大切です

MATSUNAMI

Pink Ribbon

乳がんへの関心と検診率は低く、年々死亡数が増えています。

そこで、日本でも2003年から乳がんの早期発見の啓発するための活動「ピンクリボン・フェスティバル」がスタート。

「ピンクリボン」とは乳がんの早期発見・早期治療を促進する運動のシンボルで、イベント開催や、街のデコレーション、ライトアップなどを通じてメッセージを発信しています。

まつなみ健康増進クリニック

乳腺外科

乳がんは50歳前後いわば働き盛りの女性に多く、忙しく健診の機会がなく、気づいたときには進行しているケースがよく見られます。当院では2013年6月より乳腺外来をスタートしました。

外来診療のご案内

午前 土 午後 月・火・水・木

形成外科

乳房再建とは、乳がんの治療によって失われた乳房を出来るだけ元の形に復元する手術のことを言います。形成外科は患者さんに「乳がんに罹る以前の状態に戻ってもらう」ことを理想としています。当院では、乳腺外科と形成外科が協力して治療を行っています。乳がんと診断され再建についてお悩みの方、また、既に乳がん手術が終った方でも乳房再建の話を聞いてみたい場合でもひとりで思い悩まないでぜひ相談してください。

外来診療のご案内

午前 月 午後 水

乳腺外科と形成外科に受診の際は、各科にお問い合わせください。

まつなみ News

第16回松波総合病院市民公開講座を開催いたしました。

●8月30日(土)14時～16時

講師は当院循環器内科、上野医師・北村医師による心臓疾患について講演を行い当日は、100名を超える地域の方々に参加して頂きました。

「不整脈と言わされた時のため
～不整脈について少し勉強してみませんか?～」

循環器内科・副部長 北村倫也医師

「狭心症と心筋梗塞のお話し
～最新の治療と予防方法について～」

心臓疾患センター長 上野勝己医師

今後も当院では地域の方々への
講演会などを開催していきます。



外来診療のご案内

ノースウイング(北館)

●初診の方は紹介状をご持参ください。

■眼科 ■泌尿器科 ■健診科 ■リウマチ科 ■産婦人科 ■放射線科
■脳神経外科 ■神經内科 ■耳鼻咽喉科 ■リハビリテーション科 ■整形外科

紹介状をお持ちの方 ■内科 ■循環器内科 ■小児科

●時間外診療はノースウイング(北館)にお越しください。

まつなみ健康増進クリニック

■外科 ■呼吸器内科 ■腎臓内科 ■皮膚科 ■呼吸器外科 ■血液内科
■大腸肛門科 ■形成外科 ■心臓血管外科

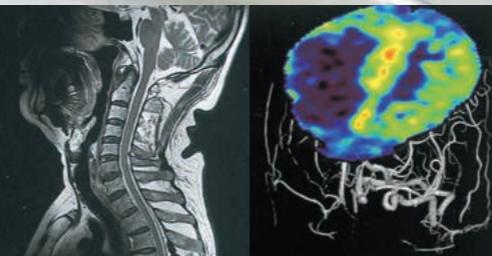
紹介状をお持ちではない方 ■内科 ■循環器内科 ■小児科

10
2014 October
No.180

患者さまと病院をつなぐかけはし

まつなみ

[発行] 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院



MRIとは

磁気共鳴を利用した画像描出法。人間の体は、3分の2が水であり磁気を利用して、体内の水素原子の量と水素原子の存在の仕方を検査する方法。放射線の被ばくがないため、繰り返す検査や子供・妊婦の検査に適している。



高度な医療を
支える検査機器
放射線科
光学診療センター

「見のがさない！」 進化する画像診断技術

高度な医療の一翼を担うのは、精度の高い診断です。

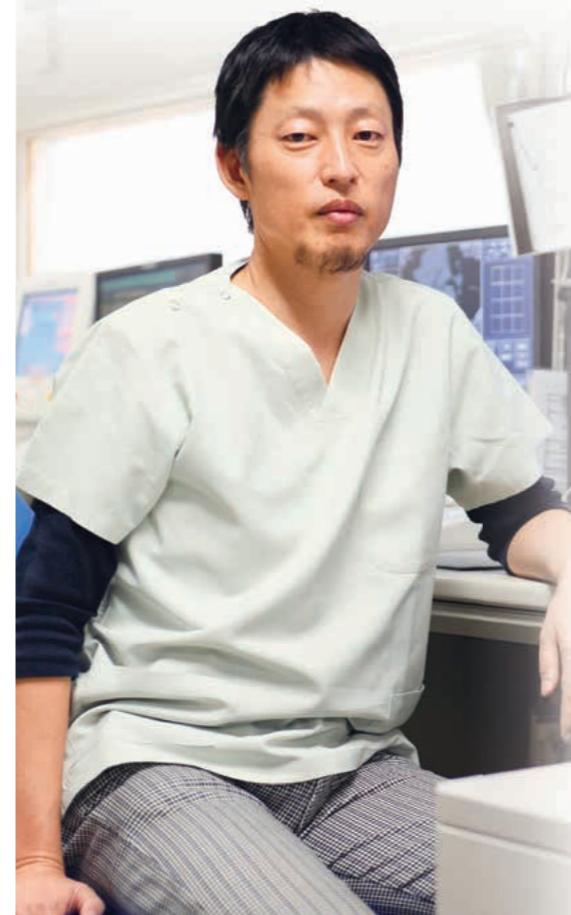
当院には最新の検査機器が揃っており、

それから得られる画像を解析し適確な診断に結びつけます。

精度の高い診断が、患者さんの命を守る

当院では、7月よりGEヘルスケア・ジャパン社製の3.0テスラMRIが稼働しております。これは同社の最新装置で、岐阜県内で初めて導入されました。従来の1.5テスラタイプに比べて信号量が多く、画質が向上。自覚症状のない脳梗塞や微小出血の発見、頭部血管画像においては未梢血管や小さな動脈瘤の描出なども容易にします。

脊椎、膝、肩などの関節領域には2Dの高分解能撮像や3D画像を取り入れることによって、腱板断裂、靭帯損傷、半月板損傷などの疾患をより正確に判断できます。また、乳腺撮像では病巣部分を明瞭に描出し、腫瘍(しゆりゅう)の良悪性鑑別、反対側病変の検出や



放射線科部長 伊原 昇

【所属学会】日本医学放射線学会、
日本インターベンショナルラジオロジー学会、
日本核医学、日本オートブレーザーイメージング学会



診療放射線技師チーム／最良の医療サービス提供のため、先進の技術を追い求め研鑽に励んでおります。

多職種によるチーム力で 内視鏡の専門化・高度化に対応。

胃・大腸カメラ、 カプセル内視鏡が揃う

近年の内視鏡の専門化・高度化にともない、複雑な医療機器の取り扱い、検体処理が必要となっています。当院では光学診療センター(内視鏡センター)として体制を整え、内視鏡学会認定の内視鏡技師、臨床検査技師、臨床工学技士等多職種のスタッフなどがチーム一丸となって部門全体の向上に努めています。

上部消化管内視鏡(胃カメラ)では、食道、胃、十二指腸粘膜を観察し、潰瘍

やポリープ、腫瘍の有無を調べます。ヘリコバクター・ピロ菌を俊敏に調べる検査(迅速ウレアーゼ)も導入しています。

早期胃癌に対しては、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を中心とした治療内視鏡を実施しています。また、下部消化管内視鏡(大腸カメラ)では、大腸ポリープ、腺腫、早期大腸がんの発見に努め、内視鏡的ポリエクтомiaや内視鏡的粘膜切除術(EMR)を行っています。

すでに導入しているNBIという特殊光での観察に加え、粘膜表層の微細な血管や粘膜の模様を表示する「Blue

LASER Imaging(BLI)機能」を有する内視鏡も導入し、早期癌の発見に努めています。

これまで十二指腸と大腸の間にある小腸は観察が困難でしたが、小腸を苦痛なく観察できるカプセル内視鏡、続いて大腸を観察するカプセル内視鏡が開発されました。当院では、小腸と大腸の両方のカプセル内視鏡を揃え、診療にあたっています。



カプセル内視鏡とは
超小型カメラを内蔵したカプセルを口から飲み込むだけで、カプセルが消化管を通過しながら、画像を記録装置に転送する検査法。当院はいち早く導入し、2014年には大腸カプセル内視鏡もスタート。



専門的な診療に対応する広々とした光学診療センター(内視鏡センター)



胃粘膜下腫瘍

放射線科 | Radiology

- 新館OPENに伴い
下記の装置を導入しました。
- MRI装置GE社製
Discovery MR750w Expert 3.0T
- CT装置GE社製 Optima CT660
- ハイブリッド手術室 フィリップス社製
Allura Xper FD20
- 【その他】
- CT装置(320列、その他)
- MRI装置(1.5T)
- SPECT-PET装置
- X線撮影装置、X線TV装置×3
- などを併せ運用しています。

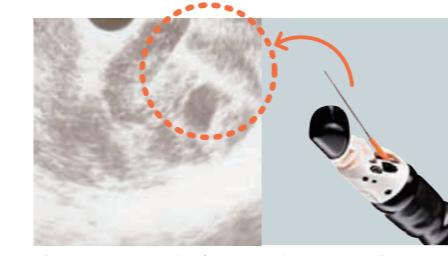
検査画像から読み取る「読影レポート」と全画像の品質管理。

当院では伝統的に最新式の画像診断装置をいち早く取り入れ日常の医療に還元・活用してきました。その一翼を担うのが診療放射線技師と私たち放射線科医です。放射線科の医師というのは診療を受けている方々からほとんど意識されることはありませんが、普段は放射線科内の「読影室」という部屋で日々撮影される画像検査に対して「読影レポート」というものを発行しています。「読影レポート」には、検査から得られた所見をもとに病気の有無や診断情報などを記載します。

また、発生する全画像に対して品質管理も

胆道・脾臓領域の 内視鏡検査と治療

胆管に結石がつまって腹痛や黄疸(体や目が黄色くなること)、高熱が出現した場合、緊急で内視鏡的逆行性胆管胆管造影検査(ERCP)を行う必要があります。このとき、乳頭切開(EST)、結石除去、ドレナージ術(ERBD、ENBD等)等の治療を同時にいます。胆道や脾臓の癌が疑われる場合は、管腔内超音波(IDUS)や経口胆管脾管鏡(スパイグラス)を併用した精密検査も行います。また脾臓の腫瘍の精密検査として、超音波内視鏡下穿刺吸引検査(EUS-FNA)を導入。開腹手術をすることなく、脾臓の腫瘍を観察し、細胞・組織を採取できます。EUS-FNAの用途は広く、胃粘膜下腫瘍や腹腔内の腫瘍、腫大したリンパ節の診断ができるほか、脾



検査が困難だった領域における診断と処置を実現した

臓周囲の膿瘍(細菌のかたまり)に対する治療も可能です。

当院は社会医療法人かつ地域医療支援病院です。公益性はもちろん、救急病院としての役割も高く、通常の身近な

内視鏡から緊急内視鏡、専門的な内視鏡など幅広く行っています。これからも地域医療の発展に貢献できるよう、スタッフ一同努めています。



光学診療センター長 横口 正美

【所属学会】日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本臨床腫瘍学会、日本癌治療学会

Mammography

7名の女性技師が対応するマンモグラフィー(乳房X線撮影)

数年前まで、男性技師が撮影を担当していたマンモグラフィーですが、患者さんのご希望を受けて、現在は7名の女性技師が対応しています。事前に内容などについて丁寧に説明し、検査時にはケーブルをかけるなど、同性ならでは

の細やかな気遣いをしながら撮影を行いますので、どうかご安心ください。つねに心がけてることとして「できるだけリラックスしていただけて、あまり痛みを感じな

いように気を配っています」、「少ない回数できれいに撮影して、わずかの病変も見逃さないようにしています」。

